

防災航空隊



採用：平成 13 年
所属：和歌山県防災航空隊
役職：副隊長
氏名：羽山雅人

【消防士を目指したきっかけ】

高校時代、帰宅途中に道端に倒れている人（心肺停止状態の人）を発見しましたが何もすることができなかったことを後悔し、同じ思いをしたくなかったため、消防士を志しました。

【担当業務】

防災ヘリが必要な火災現場、救助現場、救急現場で活動しています。

【現業務を目指した（希望した）きっかけ】

消防士として活動する中で防災ヘリの機動性に魅力を感じたため。

【現業務のやりがい等】

地上の消防隊では経験のできない現場で活動できること。また、普段見ることができない景色を見ることができること。

【現業務で大変なところ、苦労したところ】

特になし。

【休日の過ごし方、気分転換の方法】

トレーニング、読書、適度なお酒

【今後の目標】

安全運航（当たり前のことですが事故を起こさず、全員が揃って、南紀白浜空港に帰投すること。）

【これから消防士を目指す方へのメッセージ】

田辺市消防本部では他の機関への派遣も複数あり、たくさんの経験を積むことができます。一緒に田辺市の「未来へつながる道」を作っていきましょう。

消防隊
隊員
(平成 13 年～)

消防隊・救急隊
機関員・隊員
(平成 14 年～)

救急救命士
資格取得
(平成 22 年)

消防隊・救急隊
救急隊長
(平成 24 年～)

特別救助隊
隊員
(平成 29 年～)

防災航空隊
技師
(平成31年～)

防災航空隊
副隊長
(令和2年～)



消防学校教官



採用：平成 13 年
所属：和歌山県消防学校
役職：教官
氏名：野田 陽平

【消防士を目指したきっかけ】

生まれ育った田辺市で消防士として働くことが、小さい頃からの夢でした。

【担当業務】

消防職員や消防団員の教育指導及び人材育成

【現業務を目指した（希望した）きっかけ】

平成 23 年の東日本大震災では、緊急消防援助隊和歌山県隊の救助隊として活動をし、また、同年には紀伊半島大水害も経験しました。田辺市消防本部で採用され、様々な業務を経験する中で、消防職員や消防団員の教育及び人材育成の重要性を感じ、消防学校教官の派遣を希望しました。

【現業務のやりがい等】

和歌山県消防学校では、様々な教育を実施しており、県内の消防職員や消防団員が消防に関する基礎知識・専門知識を学ぶために入校します。そのような中、多くの方々と出会いがあるのが魅力の一つです。

また、学生が「日々成長する姿」を間近で見れることは、現業務の一番のやりがいです。

【現業務で大変なところ、苦労したところ】

特にありません。学生との生活は毎日が刺激的で、充実した日々を過ごしています。

【休日の過ごし方、気分転換の方法】

休日は、娘たちと過ごしています。また、趣味の山登りで気分転換をしています。

【今後の目標】

「おもいやりのある、カッコいい消防士」を育てることです。

【これから消防士を目指す方へのメッセージ】

田辺市消防本部は、職員の教育や人材育成にも非常に力を入れており、様々な研修や教育機関への派遣を積極的に行っています。

隊員(消防隊)
(平成 13 年～)
消防士としての基礎
を学ぶ。

隊員(救助隊)
(採用後約 4 年～)
様々な火災現場や救助現場
に出動し、経験を重ねる。

隊員(救助隊、潜水隊)
(採用後約 6 年～)
東日本大震災や紀伊半島
大水害を経験する。

係員(消防総務課)
(採用後 11 年～)
消防人生のターニングポ
イント。

教官(消防学校)
(採用後約 19 年～)
人材育成の重要性を感
じ、教官派遣を希望する。



デジタル無線協議会



採用：平成 13 年
所属：デジタル無線協議会
役職：技師
氏名：井谷 充孝

【消防士を目指したきっかけ】

田辺市が事務委託を受けて、私の故郷中辺路町に常備消防（田辺市消防本部）が配備されたことから、消防士を目指し採用試験を受けました。

【担当業務】

県内の共通波設備の保守管理及び維持管理、総会の運営等

【現業務を目指した（希望した）きっかけ】

指令室員勤務時に、消防救急無線デジタル化の業務担当になったこと

【現業務のやりがい等】

県内で大規模災害が発生した際に情報統制の要となる共通波無線設備の維持管理に従事しています。県民の命を守る縁の下の力持ちとして働いている。

【現業務で大変なところ、苦労したところ】

無線中継局は県内各地の山上に構築されていることから落雷などの影響を受けやすく、機器が故障したり、長時間の停電により非常用発電機の給油等が必要となること。

【休日の過ごし方、気分転換の方法】

週末自宅で過ごせること（平日は単身赴任となっています。）

【今後の目標】

現行の共通波無線設備の維持管理を徹底し、有事に備える。

【これから消防士を目指す方へのメッセージ】

田辺市民のために尽くせる方、田辺市消防本部でお待ちしております。

隊員（消防隊）

（採用～）

旧本部（現在の属ヶ浜分署）に配属され、消防隊員、救急隊員を経験する。

中辺路分署（係員）

（採用後約3年～）

旧の中辺路大塔消防署勤務となり、故郷の中辺路町で消防業務に従事する。

指令室員

（採用後約6年～）

平成 23 年の豪雨災害を経験し、無線通信網の重要性を経験する。

指令室員

（平成 30 年～）

田辺西牟婁地区消防指令センター勤務となり広域指令センター業務を経験する。

和歌山県消防救急デジタル無線運営協議会

（令和2年～）

平成 28 から運用している県内共通波無線設備の維持管理に従事する。

